

## 決 議

我国は先達の努力と医療従事者の献身的な働きにより、世界に誇る医療保険制度を堅持し、世界最高水準の平均寿命や健康寿命を達成している。

しかし政府は、医療費増大こそが国家財政悪化の元凶であるとし、自らの失政のツケを負担増という形で国民に押し付け、さらにフリーアクセスを保障した日本の医療制度をまさに今、崩壊に導こうとしている。

混合診療導入反対を要求する六百万筆の国民の署名や、衆参両院の本会議において、混合診療反対の請願書が全国会議員の賛成により採択されたという事実がありながら、「混合診療を解禁した」と主張する小泉内閣の政治姿勢は、蛮行そのものである。弱者を切捨て、利益至上主義を貫くその姿勢には、全国民の健康を願うという気持ちは全くない。

我々には、すべての国民が安心して良質な医療を等しく受けられる優れた医療制度を守り、発展させていく責務がある。いまや崩壊寸前にある医療制度の危機的状况に鑑み、我々は左記の事項を強く主張する。

### 記

- 一、健康や生命を軽視し国民の権利を略奪せんとする小泉内閣の即時退陣を要求する。
- 一、医の倫理を顧みない株式会社医業経営参入の道を即時凍結せよ。
- 一、制限医療や差別医療そのものである混合診療の無秩序な全面解禁を断固阻止する。
- 一、良質で安全な医療提供のために国の責務で確固たる財源の確保を要求する。
- 一、国民の健康を守るため患者負担の軽減を要求する。
- 一、不合理を極める消費税増徴の解消を強く求める。

右、決議する。

平成十七年三月五日